

昭和62年度 会計報告

(自 昭和62年4月1日
至 昭和63年3月31日)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越	87,576	第20回総会 関連費用	1,225,840
第20回総会 費	972,000	会議費	103,474
祝儀・寄付金	435,000	渉外費	127,350
名簿等販売益	8,500	会報発行費用	146,570
運営基金募金	135,766	事務経費	9,120
幹事会々費	60,000	運営基金振替	135,766
会報広告料	150,000	次期繰越	139,025
会報協力費	30,000		
雑取利息	8,000		
受取利息	303		
合計	1,887,145	合計	1,887,145

(注) 収入の部・会費は6,000円×162名分。

特別会計報告

本会運営基金として

定期預金	113,329円
(静岡銀行東京支店)	
指定金銭信託	444,272円
(大和銀行東京営業部)	
合計	557,601円

上記の通りご報告致します。

昭和63年3月31日

会計幹事 浜 一 昌 印
林 悌 男 印

きょう第21回総会

第21回を迎えた松本県ヶ丘高校東京同窓会(桐原茂・実行委員長)は、高10回は、今夕6時から麹町会館で行なわれる。母校より小林栄一・新校長、本部同窓会から小林庄司副会長のほか恩師、友誼校の代表らをお迎えし、また福引き等のアトラクションを相込み盛会が予想される。

昨年6月に高校9期よりバトンタッチを受け、以来、同期内の結束を固めつつ着々と準備を進めてきた高校10期の実行委員会に期待が大きい。毎年開催を実施して今年で6年目。マンネリ傾向を排し、年一回の総会を特徴づけるため、桐原茂実行委員長以下チエを絞って汗を流して実施案を検討した。

母校より新校長を迎え 創立65周年の起爆剤に

また、新入会員(新卒者)の無料招待制にもなる経費面のジレンマを克服するため、数回の幹事会で慎重に審議した結果、今年から会費の値上げを断行した。しかし、その分、参会者に実のある還元をしようとお楽しみプレゼントや福引きを用意した。さらに今回は第一次招待会員の高校36期生の大半年になる。播いた種の成果が問われる年だ。来年は本校創立65周年のため、本年をステップに大いに

会報 あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所 松本県ヶ丘高校東京同窓会
〒110 東京都千代田区
大手町2-6-2 日本ビル6F
東南貿易株式会社内
TEL 03-279-2771(代)
発行人 大澤清重

「根本会長談話」本会も年々隆盛を極め誠に喜ばしい限りです。ことしも高校10回の諸君を中心とした実行委員会のご準備により、総会が盛会裡に運営されるよう望みます。



小川氏(高7)が春二連覇 第22回親善ゴルフ大会開く

高7回の小川敬之氏(写真)が昨春に続いて二連覇、春の王者の貫録を示した。第22回アルペン杯争奪親善ゴルフ大会は4月14日、東京国際C・Cで行なわれ、なんと20名の会員が参加した。腕自慢は上条氏(高9)が幹事となり例年より咲き遅れた満開の

- 中沢⑤、高13小林⑬、高3山賀⑭、青木⑯、高4大月⑮、高6田中⑫、高7花岡④、中島⑧、青木⑨、波多野⑪、北条⑰、宮坂⑱、草間⑲、木塚⑳、高8中町⑥、高9

桜の下で好プレー、珍プレーが展開された。新ペリア方式でラウンドした結果、小川氏が42-44の好スコアでグロスネットともブツチギリ優勝を果たした。二位・浜(高8)、三位・上条(高9)の各氏。他の参加者は次のとおり。(○内の数字は順位・敬称略)。

中22竹内⑦、高2大沢⑩、高3山賀⑭、青木⑯、高4大月⑮、高6田中⑫、高7花岡④、中島⑧、青木⑨、波多野⑪、北条⑰、宮坂⑱、草間⑲、木塚⑳、高8中町⑥、高9

飛躍する起爆剤にしようとの意気込みが感じられ好感が持てる総会となりそうだ。わが東京同窓会の本旨は、質実剛健にして簡素なるを基本とし、そこに如何にして現代風をマッチさせるかにある。徒らに奇をてらわず、限られた時間内で如何に懇親の実を挙げるかある。以下に続く、高校11期からの年次幹事は、このことを肝に銘じ、よき伝統の上にニューウェブを構築する基本スタンスを継承・維持していかなければならぬといえよう。【解説】

桐原実行委員長の話 10期は素人集団だが、先輩各位の指導を仰ぎ断然と進めたい。ご参会各位のご協力をお願い(内容は変更することがあります)

総会次第

- 司会進行 桐原実行委員長(高10)
- 【第一部・議案審議】
- 物故者黙禱
 - 校歌斉唱
 - 開会の挨拶
 - 議長の手紙
 - 会長挨拶
 - 幹事長会務報告
 - 会計報告
 - 会計監査報告
 - その他
- 【第二部・懇親会】
- 閉会の挨拶
 - 来賓祝辞(学校長他)
 - 乾杯・福引き
 - お楽しみ福引き
 - エール交換
 - 新入会員紹介
 - 信濃の国合唱
 - 万歳三唱
 - 閉会当番幹事紹介
 - 閉会の挨拶

弁護士 樋口和博 (中学1回)

事務所 〒100 東京都千代田区九段北4-1-5 市ヶ谷法曹ビル203号室
☎ 03-230-4005
自宅 〒157 東京都世田谷区喜多見7-21-15
☎ 03-416-2904

世界一の東京タワー

代表取締役 大澤清重 (中学13回)
副社長

明治大学理事 評議員
(株)エフエム東京取締役

東京都港区芝公園4-2-8
電話 03-433-5111

美鈴産業株式会社
梓建設株式会社

塩原貞文 (中学7回)

〒145 東京都大田区田園調布2-3-95
TEL 03-721-3677

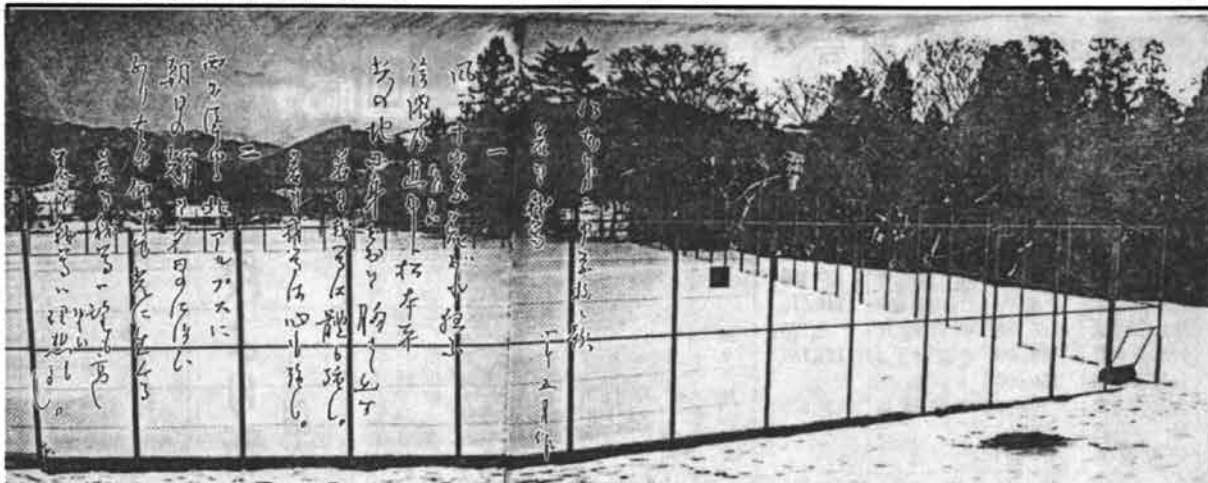
輸出入・国内販売

鉄鉱石・石炭・鉄鋼原料全般・鉄鋼製品・各種産業機械・石油製品・化学工業薬品

東南貿易株式会社

代表取締役 根本静夫 (中学5回)
社長

(本社) 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル6F
TEL (03) 279-2771-8



あたらしき皮袋に… 学校長 小林 栄一



創立65周年
特集

わが県陵
わが母校

大正12年、松本第二中学校

として、この地に産声をあげてから早くも65周年を迎える年になりました。大いに慶賀とするところであり、心よりお祝い申しあげます。長い伝統に培われ、力強く続いてまいりました県陵の精神は、いままなお脈打っております。

一万八千を数える先輩各位

によって築かれ、そして受け継がれてきた「母校愛」の心こそ、まさに県陵の宝といわずして何でありましょう。

政官界をはじめ、実業界、

教育界、刀圭界、マスコミや芸術、農林水産関係へと多方面にわたつての、ご活躍の姿は県陵人士の層の厚さ・巾広さを如実に示しております。

ここで昨今の母校の概要をご紹介します。

一、校舎改築関係等

◎本館第一棟：歴史ある大正R C校舎は昨年、解体されました。跡地にはこの九月竣工予定で、急ピッチで進められている四階建て新校舎が、その偉容を現わしはじめました。正面半分は赤御影石張りとし、校章を嵌め込みます。また、玄閣周辺の造園、校歌碑の建立等の環境整備を同窓会から

のご援助で整えます。

◎理科教室棟：昨年九月完成

三階建て、物理・化学・生物地学の実験室、講義室などに使用されています。

◎音楽教室棟：昨年九月完成

◎第二グラウンド：この五月に完成、面積14万㎡。野球場、テニスコート四面。体育授業やクラブ活動に利用。

二、第66回創立記念日

◎母校愛リレー：本年は休日の関係で4月16日、高校第10回生より卒業30周年記念事業として、図書券30万円が寄贈されました。記念講演は同期生の那須重信さん「信越放送アナウンサー部長長」が「高校野球にかける情熱の監督たち」と題して話されました。

三、卒業生の進路ほか

◎国公立大学合格者数は延べ156名(現役同71・浪人同85)。

◎現役の進学者数178名(四年制大学134・短大44)。

◎就職者数20名。他は浪人等

本年度の一年生は九学級となり「I組」が誕生。全校で25学級。生徒数は138名(男子687・女子451)で男女比6対4

四、今後の課題

県陵は施設、設備においては県下有数のものとなりまし

た。これからは、さらに中味の充実を図り名実共に、県下に誇れる進学校として発展すべく、努力を続けて参りたく存じます。私も新任校長として「新しき皮袋に新しき酒」を満たし、校舎改築を機に新たな第一歩を踏み出そうと教職員一同、頑張っております。

「知徳体」を備えた全人教育をめざす本校の存在は、地域からも県全体からも、大いに期待されております。

なお、来年四月の創立記念日には65周年記念式典を挙行し、校舎竣工・グラウンド完成祝を盛大に行なう予定であります。(小林栄一校長は東部高校より転任：編集部注)

県陵人の熱血を：

本部同窓会副会長

赤羽 富男

第21回目の東京同窓会総会

おめでとございます。昨年は、私も参列させていただきました。

在京県陵健児OB・OG諸公の意気を肌で感じ誠に、大いに意を強くいたしました。今回も昨年以上のご盛会を期待您的いたします。

さて、母校の環境は大きく変貌しつつあります。あの懐かしい鉄筋校舎は、本年九月末をめどに鉄筋四階建て生まれ変わろうとしています。

学校より東500mに新設された四千余坪の第二グラウンドは、

ケル株式会社代理店

コスモ・スリー株式会社

代表取締役 西村和夫

(高校7回)

〒101 東京都千代田区外神田6-6-7
製菓ビル5F
TEL 03-832-0560(代)
FAX 03-832-0595

NCR OA機器販売代理店

ジャパン・ユニティ株式会社

代表取締役 銭坂八郎

(高校7回)

東京都中央区築地2-15-15
セントラル東銀座 514号
〒104 ☎03-542-6877

JAV

日本エアージャパン株式会社

ラビットツアーセンター

(運輸大臣登録一般旅行業第482号)

代表取締役 中島吉比児(義彦)

(高校7回)

〒100 東京都千代田区有楽町2-3-5隆和ビル6F
TEL 03-572-4541(代) FAX 03-572-1638
運航センター 03-572-4550(直通)

小野田デュロックス特約代理店

鹿島レミコン株式会社

A・L・C営業部

部長 桐原 茂

(高校10回)

本社 東京都調布市柴崎1丁目55番地5
〒182 TEL.0424-81-6601(代)



カットは、高野辰之直筆の校歌詞と辰之の学んだ旧永田尋常小学校跡地(長野県下水内郡豊田村)。高野辰之は、全国100校以上の校歌を作詞したが、「若き我等」とサブタイトルの付いた校歌は興隆のみ。昭和4年5月の作成で、辰之の作詞になる校歌の中では最高傑作に数えられている。なお作曲は、信時 潔である。

汽車通の青春

実行委員長 桐原 茂

私は塩尻出身。思い出すだに懐かしい汽車通学であった。石炭を焚いて真黒い煙を吐きだす、あのSLだ。鼻孔はおろか体中が煤け、石炭殻の匂が抜けなかった。「石炭の煙のせいかねえ、パンツまで黒ずんでいるよ」たらい桶の洗濯板でゴシゴシ擦りながら、よく母が咳いたものだ。列車で乗りあわせる、かわいいハイのメッチェンに熱を上げたが片想いに終った。楽しかったなあ。だが、その石炭車もいまは走っていない。(高校10回)

この五月から野球場とテニスコート(4面)として使われています。旧図書館跡には、モダンな理科棟が完成し昨秋から生徒の教育実習に供されています。来年は母校創立65周年。同窓会創立60周年に当たります。4月17日の創立記念日を期して、諸施設竣工と記念式典が予定されております。帰省の折には、ぜひ母校にお立ち寄りください。同窓会ではこれを機に、昨年募金をお願ひしておりますが、大変厳しい状況です。同窓生各位のご協力を仰ぎ目標額を早期に達成し、記念行事等の取り組みに万全を期したいと存じます。きたる昭和64年を県東飛躍の年とすべく、県陵人の熱血を迸らせたいに燃焼しようではありませんか。

仕事の関係で、大分・愛知・大阪等の各地を転々。二年前に20年ぶり関東に戻ってきた。縁あって、この頃の東京同窓会の世話役を仰せつかった。これをき

印象に残っている授業が幾つありますが、中でも向山四郎先生の生物の授業は、何故かよく覚えております。本館一階東側の教室で教わったメンデルの法則とか、ウニの受精卵の発生、シダの生殖形態などの名講義を、いまでも折にふれて思い出します。高10・東原 稔

県陵を巣立って30年になるが、いまも鮮明に思い出される。ヒマラヤ杉に覆われた三階建ての校舎、応援歌の練習、先生方のそれぞれ特徴ある仕草、つらかった授業中の睡気、松本波多間の強歩大会で完歩したこと。小雪のちらつくなか剣道の寒稽古で素足感覚がなくなるまで打ち合ったことなど。高10・滝沢昌史

実行委員ひとこと集

二本の白線がくつきりついた制帽が、県ヶ丘のシンボルであった。アルプス徽章と白線つきの帽子をかぶることが夢であり誇りでもあった。入学後は、初々しい気持でイガクリ頭に制帽をのつけて通学した。松本市内に高校は幾つもあったが、当時は白線つきは県陵のみで、他校へ進学した友人達に大いに、羨しがられたものである。最近の高校生は帽子をかぶらなくなった。大いに時の流れを感じさせるこの頃です。高10・佐藤悦雄

母校卒業後30年、月日の経つ早さに今更ながらおどろかされます。しかし、いつも変わらないのが故郷の山々です。北アルプスと美ヶ原の山々に囲まれたその風景を見るだけで、安堵感が湧いてきます。本会にお集まりの皆さんも同じ事と存じます。県陵の校章の基にもなっている、北アルプスの地を自分の原点として、これからも精一杯生きて行きたいものです。高10・米山 寛

母校卒業後30年、月日の経つ早さに今更ながらおどろかされます。しかし、いつも変わらないのが故郷の山々です。北アルプスと美ヶ原の山々に囲まれたその風景を見るだけで、安堵感が湧いてきます。本会にお集まりの皆さんも同じ事と存じます。県陵の校章の基にもなっている、北アルプスの地を自分の原点として、これからも精一杯生きて行きたいものです。高10・米山 寛

信州の東京
長野県人会連合会
常務理事 降旗勝次
編集長 (高校10回)
東京都中央区日本橋室町3-2-10
TEL.03-279-5888(代表) 〒103

才能開発・国際育成業務
(株)SPインターナショナル
代表取締役 田中泰英
取締役 吉井弘明 (高校8回)
〒160 東京都新宿区西新宿8-12-1
サン・レス新宿ビル1107号室
TEL 03-366-1611(代)
FAX 03-366-1643

宝石・貴金属・時計
株式会社 東京宝石
代表取締役社長 吉井弘明
社 (高校8回)
〒103 東京都中央区日本橋人形町2-2-3
堀口ビル3F
TEL 03-664-4031(代)
FAX 03-664-4033
支店 新宿・岡山・松江

タイガー印スポーツ用品
(株)タイガー東京支社
支社長 奥原輝男
(高校15回)
〒113 東京都文京区弥生2-5-3
岩間コーポ1F
TEL 03-818-8251
FAX 03-818-8252

【前号まで】昭和12年、鹿島組に入社し鮮満国境の茂山へ赴いた私は前年、徴兵検査を受けたばかりの血気盛んな秋であった。

昭和14年秋、赤紙一枚により会軍の連隊へ入営したが、厳冬期の初年兵教育で肺を患い入院した。野戦で敵弾に倒れたの、いわゆる「名譽の戦傷」ならともかく不衛生による発熱入院であるからして甚だ不名誉な事態であり、誠に肩身が狭く出来得れば、人知れず一日も早く回復して原隊復帰したかった。

如何ともしがたい。郷里松本市から藤野市議を団長とする慰問団がご当地へ繰り込んで来たのである。さあ、困ったことになった。

会軍は軍都で歩兵、工兵、野砲機銃砲等五個連隊が駐屯し、特に歩兵第75連隊は松本50連隊と関係が深かった。その理由は寒冷地のため信州や越後、東北など雪国出身の兵で固めていたからである。そして、対ソ戦が風雲急を告げる時期であっただけに、この地への大がかりな慰問団派遣となったものであろう。病院に私を名指しで慰問を受けた時は、穴があいたら入りたい気持で何とも情なかつた。

実家の玄関には「出征兵士の家の表札が誇らしげにさがっているのに、こうしてのほほんと入院しているとは。もう、冷や汗びっしょりで口を返答もできず、只ペコペコお辞儀を繰り返すのみで何とも不機嫌な事であった。三ヶ月して病状も取まり全快すると途端に召集解除となって除隊した。お国のために何の奉公もでき

なくて自らを恨んだが、その後、部隊は大戦で上海へ南下した際に気候の急変で三分の一の兵が病死したとの知らせを受けた。もし私が健常で在隊していたならば、同様に死んでいたかもしれない。人間の運命は神のみぞ知る不可思議なものだと、その時つくづくと思つたものである。

球が盛んになった。昼休みの暇つぶしに始めたキャッチボールが切掛で、遂には北鮮滿軟式野球大会へと発展した。しかし大戦突入へと敵性スポーツとしての野球は疎んじられ終には禁止の憂目を見るに致つた。平和の世の有難さを感じる。昭和18年の暮になって転勤の内



思い出の記 ④ =最終回= あゝ、青春のわが茂山… 中7 塩原貞文(顧問)

は幸運であった。あの時、兵庫へ転動していなければ、敗戦後の鮮満の混乱・悲惨さを考え合せると全くよい時期の国内帰還であった。さて、ここで忘れることのできない思い出がある。いよいよ朝鮮を引き揚げる時であった。茂山の駅は大勢の見送りで混雑していた。発車間際になって大声で別れの挨拶をしながら、列車の窓に走り寄り、一通の茶封筒を手渡ししてくれた人がいた。現地人の李鍾煥さん(日本名・大島三作)であった。土工、鷹の下請の頭で私が採用し過去五年の間、数々の難工事を私の手先になって献身的に働いてくれた男である。軽便鉄道が走り出してから、トイレに入って開封してみたら餞別として、金500円も大金が入っていたのではないかと。当時の私の一年間の生活費に相当する額であった。感謝の念より先にびびりた。もう二度と会うこともあるまいという想いと茂山の街の情景がオーバーラップして目の前が霞んで来た。あながち、豆満江の水辺に煙る霧のせいばかりではなかつたらう。

終戦のち、20年余りも経った頃、彼より連絡があった。手紙の内容は現在、自分はソウルで水力発電所の建設現場にいる。韓国は目下、建設ブームに入つて多忙である。希望があるならぜひ来ないかーとの誘いであった。私も丁度鹿島組の霞ヶ関事務所の責任者として三ヶ月内地の土を踏んだ。帰国して三ヶ月内には開釜運送船は航行の自由禁止令が出され、軍人以外の不用不急者への制限が厳しくなつて行つた。

人間萬事塞翁が馬。ここでも私

昭和16年の太平洋戦争勃発は、山奥の街にも軍歌の流行と共に、戦時体制への緊迫した気運が濃厚となった。聖戦完遂の旗印のもと工場への働き手も日の丸の鉢巻姿で生産増強に励んだ。緊張が続く不安な日々々に複雑怪奇な情報も乱れ飛ぶ時勢となった。

戦争がはじまる前の一時期、野

を書いてきたが私も、既に喜寿に手の届く老境に入つてしまった。年廻りの故か、ここ最近、親族や親しい友人知己が相次いで鬼籍に入つている。いま私が健在なのは運命ということもあるが、若い時に磁山の建設現場で、一日に10km以上も歩き廻つたことにあると思う。歩くということが足腰を鍛え健康な体力の保持に役立っているであろう。百里の道も一歩からというが、このような建設現場によく働き場所を与えてくださった神様に感謝の祈りを捧げて、私の拙い一文を終ります。【完】

長い間にわたつて、ご愛読ありがとうございました。近く、他の作品と合わせて一冊の本にまとめる予定です。ご期待ください。

【写真説明】茂山にある三菱鉱業傘下の茂山鉄鋼開発、斜面式大運送場の全景(昭和15年3月撮影)

▼：年一回とは申せ会報の発行も手間ヒマのかかる仕事です。毎朝5時起きしての二週間、出勤前のひと時で何とか格好をつけました。(後)

▼：生まれはじめての仕事で原稿依頼や広告取り…。良い経験をしました。(茂)

▼：10期の縁でいささかのお手伝いしました。(降旗)

編集後記

▼：10期の縁でいささかのお手伝いしました。(降旗)

▼：10期の縁でいささかのお手伝いしました。(降旗)

▼：10期の縁でいささかのお手伝いしました。(降旗)

山岸光臣法律事務所
弁護士 山岸光臣(高校3回)
〒101 東京都千代田区神田佐久間町1-14 第2東ビル8F 801号室
電話 03-255-2700
03-255-2709

東京特建ナショナル住宅株式会社
常務取締役
山賀一弘(高校3回)
本社 〒113 東京都文京区本駒込6-5-17
TEL 03-943-6611(代表)
FAX 03-943-6610

有限会社海老徳
代表取締役 平畑哲郎(高校3回)
本社 〒154 東京都世田谷区太子堂2-2-5
☎ 03-413-8295
営業所 〒399-07 塩尻市広丘聖石2146-301
☎ 0263-52-2624

製造・販売種目
・炭素製品全般
・クロレラ食品全般
株式会社相アイデン 伝
代表取締役 堀切競雄(高校2回)
本社 東京都千代田区神田神田門73番地
電話 03(253)6935,1036
埼玉工場 埼玉県三郷市香匠1-66-1
電話 0489(52)6422,6067